

4. 黒河内の植生

4-1. 小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林の状況

中部森林管理局の保護林モニタリング調査報告書（平成 23 年 3 月）から、黒河内モデル地域内にある「小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林」の森林、植生状況を紹介します。

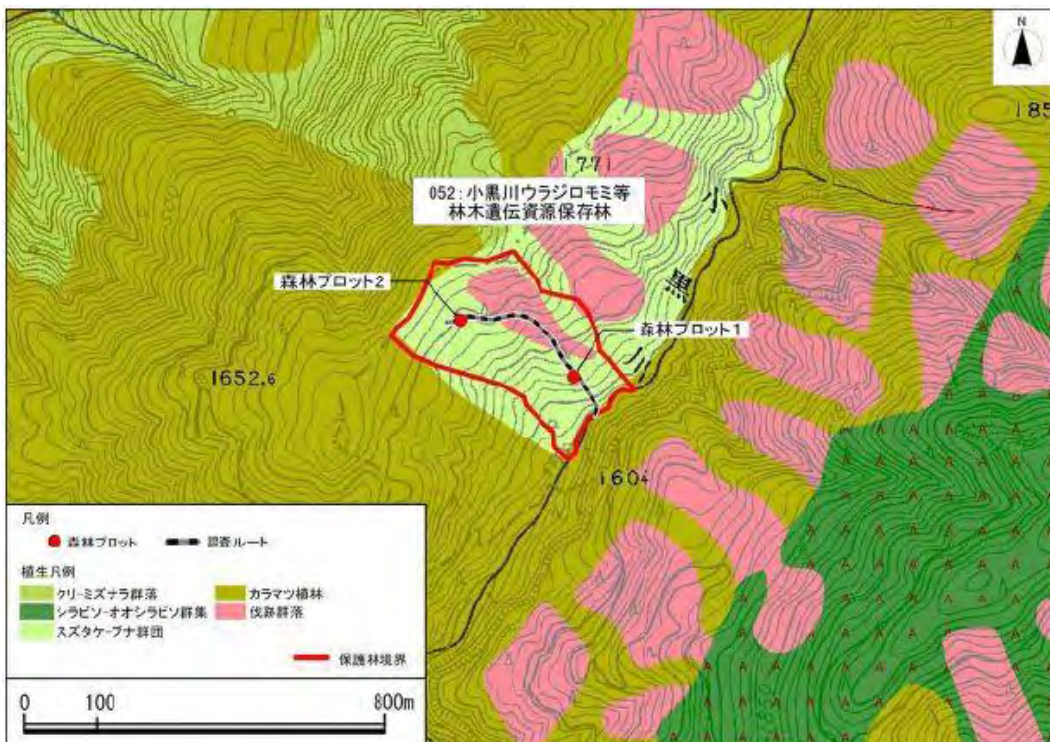


図 6-67 小黒川ウラジロモミ等林木遺伝資源保存林の植生図と位置

【保護林の設定目的】

温帯から亜高山帯への移行帯におけるウラジロモミ、イラモミ、ダケカンバを遺伝資源として保存する（図 6-67）。

【保護林の林況】

ウラジロモミ、イラモミ、ダケカンバ、コメツガ等から構成される天然林となっている。

【保護林調査の年月日】

森林調査(毎木調査・植生調査・定点写真)、植物相調査：平成 22 年 7 月 22 日。

【本項の引用・参考文献】

保護林モニタリング調査報告書（平成 23 年 3 月：中部森林管理局）

① 保護林プロット1

植生調査票

高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H)		林床被覆率(%)
高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	
20 ~ 25	60	10 ~ 20	40	0.8 ~ 4.5	10	0 ~ 0.5	25	90

高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H)	
種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度
ウラジロモミ	3	シナノキ	2	ウラジロモミ	1	ミヤマクマザサ	2
(ダケカンバ)	1	イタヤメイゲツ	+	(シナノキ)	1	ミヤマワラビ	1
		(コメツガ)	1			コミヤマカタバミ	1
		(クロベ)	1			タチツボスミレ	1
		(シウリザクラ)	1			ミヤマタニタデ	1
						シノブカグマ	+
						オシダ	+
						ミヤマシダ	+
						ウラジロモミ	+
						サワラ	+
						ダケカンバ	+
						ゼリハオウレン	+
						ミヤマザクラ	+
						ウリハダカエデ	+
						ミヤマスミレ	+
						シシヨウイチヤクソウ	+
						キオン	+
						アキノキリンソウ	+
						マイヅルソウ	+

中円部初出現の種: クジャクシダ、イラモミ、コメツガ、ヒノキ、クロベ、カバノキ科の一種、ゴトウツル、シウリザクラ、コミネカエデ、イトマキイタヤ、ツリバナ、イワセントウソウ、ケナツノタムラソウ、イボタヒョウタンボク、タニギキョウ、ヒメノガリヤス、テンナンショウ属の一種

大円部初出現の種: ヒメコメツガ、シラカンバ、ミスナラ、ウスバサイシン、ヤマタネツケバナ、ウワミズザクラ、ツルツゲ、コシアブラ、キンリョウソウ、ヒメウスノキ、オククルマムグラ、ツクバネウツギ属の一種、コキンレイカ、タケシマラン、スゲ属の一種、ヒメミヤマウスラ、ヒメムヨウラン

(+)は中円部、(+)は大円部まで範囲を広げたことを示す。

毎木調査(小円部は胸高直径10cm以上)

円部	樹種	本数	胸高直径(cm)			樹高(m)			枯損率(%)	剥皮率(%)	空洞率(%)	胸高断面積合計(m ² /ha)
			最小	平均	最大	最小	平均	最大				
小円部	ウラジロモミ	4	1.5	25.5	58.8	1.7	13.6	26.1	50	0	0	4.0
	ダケカンバ	1	22.7	22.7	22.7	11.5	11.5	11.5	100	0	0	0.4
中円部	コメツガ	9	7.1	32.1	56.6	4.4	16.8	26.9	11	0	0	8.7
	シナノキ	5	11.8	14.7	18.9	5.1	11.6	20.8	0	0	0	0.9
	ウラジロモミ	3	36.0	50.5	65.4	7.4	18.7	27.7	0	0	0	6.4
	ダケカンバ	3	23.8	27.0	32.7	16.3	19.6	23.9	0	0	0	1.8
	ヒノキ	2	35.5	41.6	47.7	23.7	24.3	24.8	0	0	0	2.8
	カバノキ科の一種	2	22.0	22.1	22.2	7.7	9.7	11.6	100	0	0	0.8
	シウリザクラ	2	24.2	26.7	29.2	15.8	19.1	22.4	0	0	0	1.1
	イトマキイタヤ	1	22.2	22.2	22.2	16.1	16.1	16.1	0	0	0	0.4
	イタヤメイゲツ	1	9.0	9.0	9.0	8.1	8.1	8.1	0	0	0	0.1
	樹種不明	1	43.1	43.1	43.1	23.5	23.5	23.5	100	0	0	1.5
大円部	コメツガ	6	18.3	29.6	42.5	10.0	16.1	22.2	17	0	0	4.6
	ダケカンバ	6	16.8	26.1	46.7	15.4	18.4	21.1	0	0	0	3.6
	樹種不明	6	18.0	19.2	21.4	2.0	8.0	15.5	100	0	0	1.7
	ウラジロモミ	4	22.4	44.6	67.6	13.9	22.2	26.5	0	0	0	7.1
	ミスナラ	4	19.4	24.7	36.9	14.0	18.6	25.2	0	0	0	2.1
	キタコヨウ	1	62.6	62.6	62.6	25.1	25.1	25.1	0	0	0	3.1
	シラカンバ	1	40.1	40.1	40.1	19.1	19.1	19.1	0	0	0	1.3
	ウワミズザクラ	1	34.5	34.5	34.5	23.8	23.8	23.8	0	0	0	0.9
	シウリザクラ	1	24.5	24.5	24.5	24.7	24.7	24.7	0	0	0	0.5
	イトマキイタヤ	1	23.1	23.1	23.1	19.1	19.1	19.1	0	0	0	0.4
イタヤメイゲツ	1	25.5	25.5	25.5	10.8	10.8	10.8	0	0	0	0.5	
合計	12種(不明種を除く)	66	1.5	29.0	67.6	1.7	16.4	27.7	21	0	0	54.5



プロット1 定点写真(北)



プロット1 定点写真(東)

保護林の斜面下部(1,620m)に位置する、ブナ帯のウラジロモミが優占する林分にプロットが設定されている。その他、コメツガ、シナノキ、ダケカンバ等が混生する。

② 保護林プロット2

植生調査票

高木層(T1)		亜高木層(T2)		低木層(S)		草本層(H)		草本第2層(H2)		林床被
高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	高さ(m)	割合(%)	覆率(%)
18 ~ 23	60	10 ~ 15	30	1.5 ~ 5	5	0.2 ~ 1.5	5	0 ~ 0.2	10	100
種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	種名	優占度	
ダケカンバ	2	サルナシ	2	ウラジロモミ	1	ミヤマクマザサ	1	タチツボスミレ	1	
シラカンバ	1	シナノキ	2	ネジキ	+			ミヤマクマザサ	1	
(コメツガ)	2	ハリギリ	2					シラネウラボ	+	
		ミヤマザクラ	1					ウラジロモミ	+	
		(カツラ)	2					コメツガ	+	
								ミヤマザクラ	+	
								ヤマモミジ	+	
								ウリハダカエデ	+	
								イタヤメイゲツ	+	
								イワセトウソウ	+	
								ケナツツタムラソ	+	
中円部初出現の種	ヘビノゴザ、ミズナラ、カツラ、ウスバサイシン、コシアブラ、コナスビ、オククルマムグラ、ヨツバヒヨドリ、フクオウソウ、マイヅルソウ、タケシマラン、イチヨウラン									
大円部初出現の種	シノブカクマ、ミヤマウラボ、ミヤマシダ、キタゴヨウ、ヒノキ、イヌブナ、オオバメキ、スダヤクシユ、コミネカエデ、ミヤマタニタデ、ギンリョウソウ、イケマ、タニギキョウ、サワギク、ユキザサ、スゲ属の一種									

()は中円部、(()は大円部まで範囲を広げたことを示す。

毎木調査(小円部は胸高直径1cm以上)

円部	樹種	本数	胸高直径(cm)			樹高(m)			枯損率(%)	剥皮率(%)	空洞率(%)	胸高断面積合計(m ² /ha)
			最小	平均	最大	最小	平均	最大				
小円部	シラカンバ	4	22.0	28.2	34.3	8.9	16.7	24.4	50	0	0	2.6
	サルナシ	3	2.5	3.5	5.5	14.7	15.9	16.5	0	0	0	0.0
	樹種不明	3	2.0	8.2	20.1	1.4	5.9	13.8	33	0	0	0.3
	ウラジロモミ	2	2.0	2.8	3.5	1.6	2.1	2.5	50	0	0	0.0
	ハリギリ	2	5.5	10.5	15.5	7.5	10.3	13.1	0	0	0	0.2
	ダケカンバ	1	32.5	32.5	32.5	21.8	21.8	21.8	0	0	0	0.8
	ミヤマザクラ	1	15.7	15.7	15.7	11.2	11.2	11.2	0	0	0	0.2
	シナノキ	1	20.3	20.3	20.3	11.0	11.0	11.0	0	0	0	0.3
中円部	ネジキ	1	4.2	4.2	4.2	3.5	3.5	3.5	0	0	0	0.0
	ダケカンバ	7	12.5	24.0	35.0	8.9	17.5	22.3	0	0	0	3.5
	コメツガ	6	10.0	25.8	47.0	6.8	13.3	20.5	0	17	0	4.0
	シラカンバ	5	28.0	38.1	50.5	19.1	23.0	29.3	20	0	0	5.9
	ミヤマザクラ	2	16.4	16.7	17.0	10.8	11.6	12.4	0	0	0	0.4
	樹種不明	2	7.7	10.8	13.9	4.2	4.8	5.3	100	0	0	0.2
大円部	ウラジロモミ	1	11.2	11.2	11.2	7.6	7.6	7.6	0	0	0	0.1
	カツラ	1	13.7	13.7	13.7	10.6	10.6	10.6	0	0	0	0.1
	ダケカンバ	9	19.8	29.2	55.2	15.9	21.1	25.1	0	0	0	6.8
	コメツガ	7	18.5	33.9	51.2	13.4	17.6	21.4	14	0	0	7.0
	シラカンバ	6	19.0	26.9	45.5	14.0	17.2	21.6	17	0	0	3.8
	ヒノキ	2	18.3	23.0	27.7	13.1	14.6	16.1	0	0	0	0.9
	ミヤマザクラ	2	18.0	20.7	23.3	11.3	14.9	18.4	0	0	0	0.7
	イタヤメイゲツ	2	19.1	20.8	22.5	13.2	13.4	13.6	0	0	0	0.7
	ウラジロモミ	1	32.6	32.6	32.6	18.9	18.9	18.9	0	0	0	0.8
	キタゴヨウ	1	58.6	58.6	58.6	23.1	23.1	23.1	0	0	0	2.7
シナノキ	1	23.6	23.6	23.6	17.3	17.3	17.3	0	0	0	0.4	
合計	13種(不明種を除く)	73	2.0	23.9	58.6	1.4	15.5	29.3	12	1	0	42.6



プロット2 定点写真(南)



プロット2 定点写真(西)

保護林の斜面上部(1,700m)に位置する、ダケカンバが優占する林分にプロットが設定されている。ダケカンバの他、シラカンバ、シナノキ、ウラジロモミ等が混生する。

③ 保護林の下層植生等の状況



シカ 糞



シカ つのこすり



獣道



帰化植物(シロツメクサ)



帰化植物(ナガハグサ)



帰化植物(セイヨウノコギリソウ)

小黒川に接した南東向き斜面に位置し、保護対象種であるウラジロモミの大径木が多く、コメツガやダケカンバも多く混生する林分である。

この他、ブナの大径木も多く確認されている。林床植生はシカによる食害を受けており貧弱である。保護林は、小黒川林道から川を渡った対岸に位置し、人の出入りがほとんどはない。保護林境界の河川沿いの林縁にはシロツメクサ等の帰化植物も見られる。

4-2. 植生、毎木調査結果

プロットNo.①

a 調査区

表 6-100 プロットNo.①調査区の植生調査結果

No. 桐1 Date 4-26
年月日 11.13

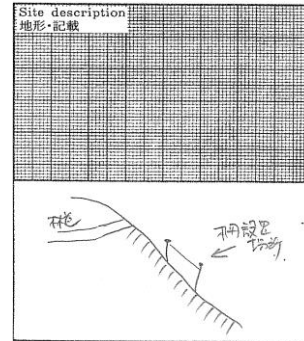
Location 上昇斜面(凸型) Inclination 20 度
地形 上昇斜面(凸型) 傾斜 20 度

Direction S30E Altitude 1675 m
方位 S30E 標高 1675 m

Residual/Colluvial Parent material
堆積様式 残積 母材・地質 珪岩 4ヤ十

Land use モミ林
利用来歴・現況 近年、南成実流湧水(周囲/環)

Surveyor 元島清人
調査者 元島清人



Community table		Community symbol				Area
群落組成表		群落名 <u>ツツジロミ</u>				
Layer	Dominant	Height	D.B.H	P.C.V.	Spp Nos.	面積 (10 × 10) 100 m ²
階層	優占種	高さ m	胸径 cm	植被率%	種数	
I 高木層 (T ₁)	<u>ウラジロミ</u>	<u>12-17, 16-27</u>	~	<u>90</u>	<u>4</u>	Species' numbers 出現種数 <u>16</u> 種
II 亜高木層 (T ₂)	~	~	~	~	~	
III 低木層 (S)	~	~	~	~	~	
IV 草本層 (H)	<u>ササキ</u>	<u>10-0.4</u>	~	<u>2</u>	<u>13</u>	
V 蘇苔層 (M)	~	~	~	~	~	

P.C.V. : Percentage of vegetational cover
D.B.H. : Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	備考
T ₁	3	2	ウラジロミ	マツ	
	1	1	ミスナラ	ブナ	
	1	1	ダケカンバ	カバノキ	
	1	1	ヤマサクラ	バラ	
H	+	1	ウスバスミレ	スミレ	
	+	1	ミヤマウラジロイチゴ	バラ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	イヌトウバナ	シソ	
	+	1	ウラジロミ	マツ	
	+	1	サクラ	バラ	
	+	1	キタゴヨウ	マツ	
	+	1	スゲ属	カヤツリグサ	
	+	1	オククルマグセラ	アカネ	
	+	1	ヒゲノガリヤス	イネ	
	+	1	ウリハダカエテ	カエテ	
	+	1	ミスギ	ミスギ	
	+	1	サナギイチゴ	バラ	

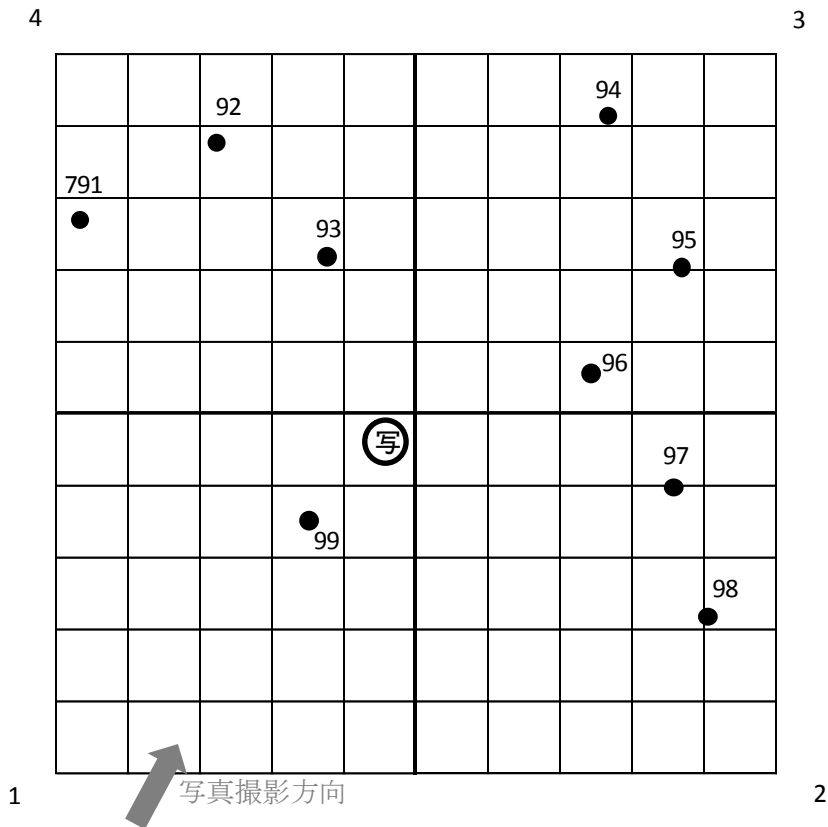


図 6-68 プロットNo.①調査区の毎木位置

表 6-101 プロットNo.①調査区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
791	ウラジロモミ	15.6	12.9	皮ハギ
792	ウラジロモミ	17.3	12.7	
793	ミスナラ	20.5	13.8	
794	ウラジロモミ	23.9	14.9	
795	ウラジロモミ	22.6	16.0	
796	ウラジロモミ	21.2	14.9	カメラ設置
797	サクラ (不明)	20.6	15.1	
798	ダケカンパ	20.6	17.3	
799	ウラジロモミ	27.1	16.9	

No.①の現地写真（調査区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林205林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.①調査区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占しミズナラ、ダケカンバなどが混生する。

下層植生は、シカによる食害等を受け、まばらで少ないが、僅かにウラジロモミやミズキ等の稚樹も見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサはまったく見られない。

b 対照区

表 6-102 プロットNo.①対象区の植生調査結果

No. 21 Date 11/26
年月日 11.10

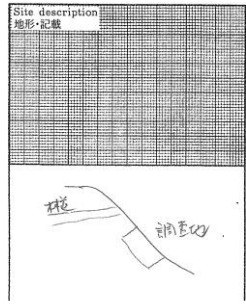
Location 上野橋(凸型) Inclination 0° 度
地形 上野橋(凸型) 傾斜 0° 度

Direction S8E Altitude 1675 m
方位 S8E 標高 1675 m

Residual/Colluvial Parent material
堆積様式 残積 母材・地質 花崗岩 4ヤト

Land use 天然林
利用来歴・現況 近年伐採後 雑木(周囲は人工林)

Surveyor 元島清人
調査者 元島清人



Community table / Community symbol
群落組成表 / 群落名 ウラジロミ

Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数
I 高木層(T ₁)	<u>ウラジロミ</u>	<u>15-18, 25-36</u>	<u>80</u>	<u>80</u>	<u>1</u>
II 亜高木層(T ₂)	~	~	~	~	~
III 低木層(S)	~	~	~	~	~
IV 草本層(H)	<u>0-0.6</u>	~	~	<u>10</u>	<u>20</u>
V 蘚苔層(M)	~	~	~	~	~

Area 面積 10 × 10 (100) m²
Species' numbers 出現種数 20 種

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	4	4	ウラジロミ	マツ	
H	2	2	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	ミヤマウラジロイコ	バラ	
	+	1	モミジイコ	バラ	
	+	1	ヤマオタマキ	キンポウゲ	
	+	1	ヤマモモギ	キク	
	+	1	ヨツバヒヨドリ	キク	
	+	1	アオハダ	モチノキ	
	+	1	オククルマグサ	アカネ	
	+	1	ウラジロミ	マツ	
	+	1	ウグイスカグサ	スイカズラ	
	+	1	アカマツ	マツ	
	+	1	ウリカエテ	カエテ	
	+	1	カラマツ	マツ	
	+	1	アキグミ	グミ	
	+	1	スゲ属 (不明)	カヤツクグサ	
	+	1	コウゾリナ	キク	
	+	1	ヤマホタルブクロ	キキョウ	
	+	1	ヒゲノガリヤス	イネ	
	+	1	エゾハタサオ	アブラナ	
	+	1	マルハコソロソウ	アブラナ	

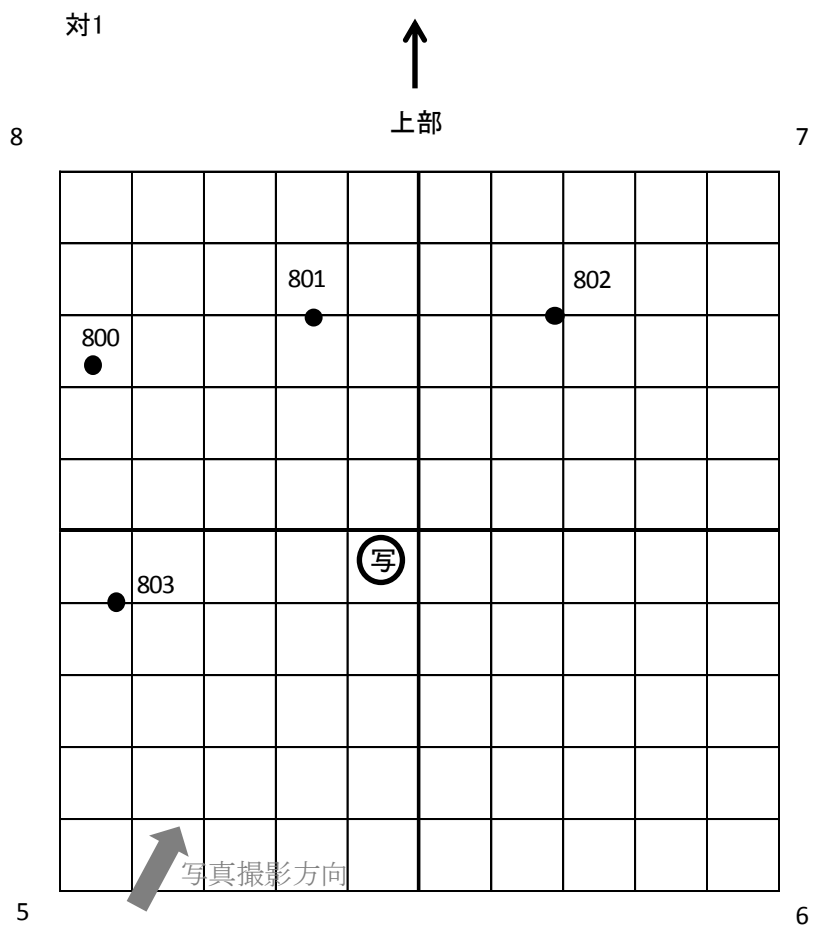


図 6-69 プロットNo.①対象区の毎木位置

表 6-103 プロットNo.①対象区区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
800	ウラボシ	24.5	14.9	
801	ウラボシ	36.3	16.8	
802	ウラボシ	35.7	17.8	くされ有り
803	ウラボシ	30.8	16.8	

No.①の現地写真（対象区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林205林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.①対象区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占し、その他の樹種は見られない。

下層植生は、シカによる食害等を受け少ないが、タチスボスミレが比較的多くみられる。その他、ウラジロモミ、アカマツ、カラマツ、アオハダ等の稚樹も見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが僅かに見られるがシカによる食害等により消滅寸前である。

プロットNo.②

a 調査区

表 6-104 プロットNo.②調査区の植生調査結果

No. 柵2 Date 14
年月日 26.9.29

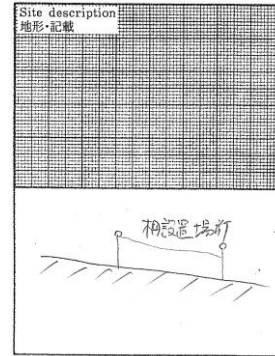
Location 平衡斜面 Inclination 4 度
地形 傾斜

Direction S45E Altitude 1682 m
方位 標高

Residual/Colluvial 砂礫 Parent material 母材・地質 砂礫層 粘板岩
堆積様式 母材・地質

Land use 人林田圃 天然林
利用来歴・現況

Surveyor 元島清人
調査者



Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数	Area 面積 (10 × 10) m ²	Species numbers 出現種数 12 種
I 高木層 (T ₁)	シラハ、カンバ	20 ~	~	100	5		
II 亜高木層 (T ₂)	コシアブラ、ヤマモミジ	10 ~	~	20	4		
III 低木層 (S)	—	~	~	0	—		
IV 草本層 (H)	ウリハダカエテ	0 ~ 0.1 ~	~	0	5		
V 蘇苔層 (M)	—	~	~	—	—		

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	2	ミスナラ	ブナ	
	2	2	ウラジロモミ	マツ	
	2	2	シラカンバ	カバノキ	
T ₂	1	1	コシアブラ	ウコギ	
	+	1	キタゴヨウ	マツ	
	1	1	ヤマモミジ	カエデ	
	1	1	コシアブラ	ウコギ	
H	+	1	イタヤカエデ	カエデ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	ウリハダカエテ	カエデ	
	+	1	マイヅルソウ	ユリ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	ミスナラ	ブナ	
	+	1	イタヤカエデ	カエデ	

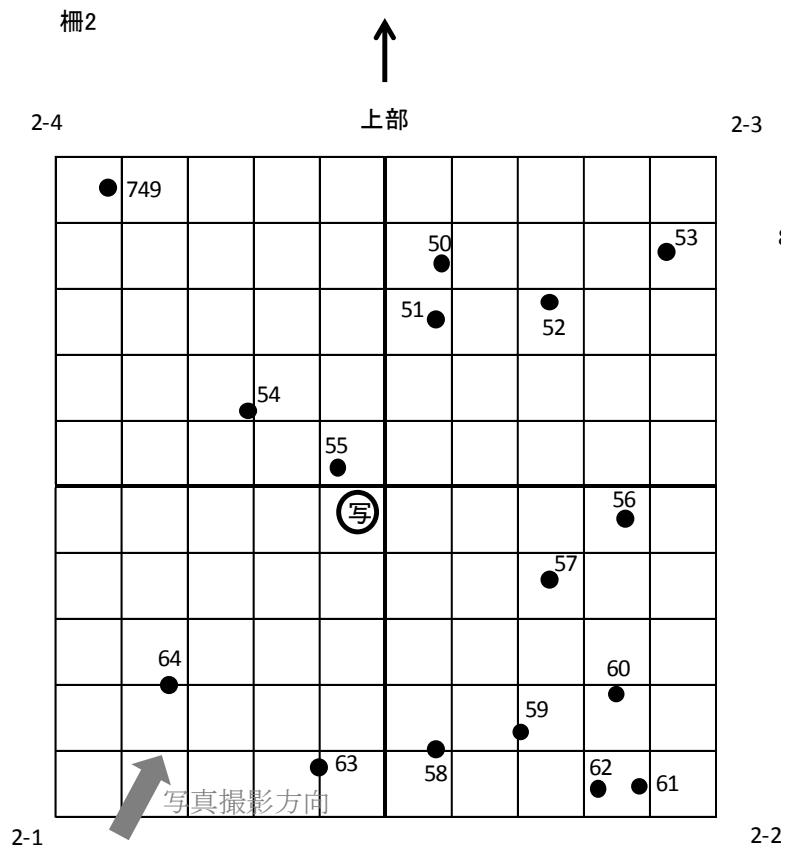


図 6-70 プロットNo.②調査区の毎木位置

表 6-105 プロットNo.②調査区の毎木調査結果

N0 テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
749	キタゴヨウ	12.8	19.9	皮ハギ
750	ミスナラ	13.3	17.5	
751	ウラジロモミ	17.6	18.4	
752	ウラジロモミ	22.0	18.5	
753	シラカンバ	52.7	21.1	
754	コシアブラ	25.3	17.6	角研
755	ミスナラ	21.0	21.6	
756	ヤマモジ	4.6	5.8	
757	ヤマモジ	4.0	6.1	
758	コシアブラ	18.1	20.9	皮ハギ
759	シラカンバ	19.4	19.9	
760	ミスナラ	16.8	15.0	
761	コシアブラ	9.3	10.6	
762	ウラジロモミ	6.1	6.3	皮ハギ
763	ヤマモジ	9.8	9.9	皮ハギ
764	イタヤカエデ	3.1	4.4	皮ハギ

No.②の現地写真（調査区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林204林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.②調査区のコメント】

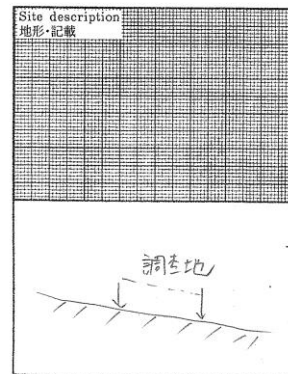
高木層は、ミズナラとウラジロモミが優占し、シラカンバ、コシアブラ、イタヤカエデ、キタゴヨウマツなどが見られ、ヤマモミジ、コシアブラ、イタヤカエデ等の亜高木層も見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受け少ないが、ミズナラ、イタヤカエデ、ウリハダカエデ等の稚樹も見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

b 対照区

表 6-106 プロットNo.②対象区の植生調査結果

No. 対2 Date H26.9.29
 Location 平野斜面 Inclination 1 度
 Direction S30E Altitude 1680 m
 Residual/Colluvial 残積 Parent material 古生層粘板岩
 Land use 人工林に囲れた天然林
 Surveyor 元島 清人



Layer	Dominant	Height	D.B.H	P.C.V.	Spp Nos.	Area
階層	優占種	高さm	胸径cm	植被率%	種数	面積
I 高木層(T ₁)	ウラジロモミ	13~21/15	37	100	6	10 × 10 m ²
II 亜高木層(T ₂)	ミスナラ	~12	~12	10	1	Species' numbers
III 低木層(S)		~	~			出現種数 / / 種
IV 草本層(H)	ウリハタカエテ	0~0.1	~	0	8	
V 蘇苔層(M)		~	~			

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
 D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	アカマツ	マツ	
	1	1	ミスナラ	ブナ	
	1	1	キタゴヨウ	マツ	
	1	1	コシアブラ	ウコギ	
	1	1	シラカンバ	カバノキ	
T ₂	+	1	ミスナラ	ブナ	
H	+	1	ウリハタカエテ	カエテ	
	+	1	キタゴヨウ	マツ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	ツルウメトキ	ニシキギ	
	+	1	ヤマモジ	カエテ	
	+	1	ミスナラ	ブナ	
	+	1	マイヅルソウ	ユリ	

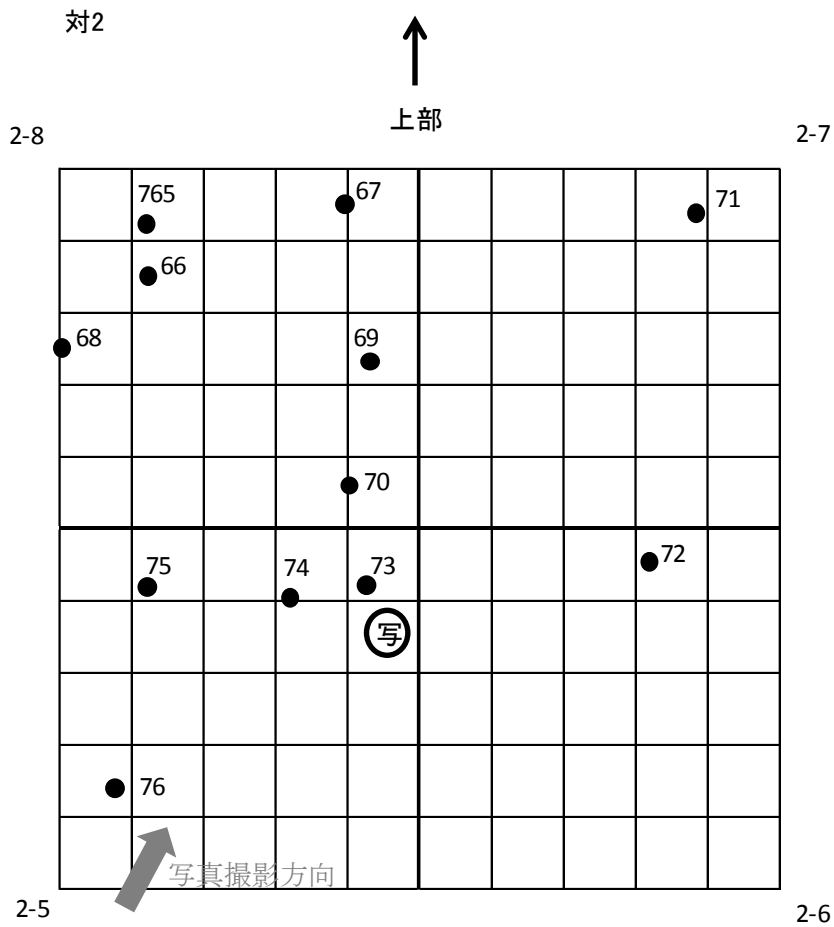


図 6-71 プロットNo.②対象区の毎木位置

表 6-107 プロットNo.②対象区区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
765	ウラジロモミ	16.1	18.9	
766	ウラジロモミ	33.8	21.3	
767	アカマツ	37.7	22.4	
768	ミスナラ	12.5	12.4	
769	ウラジロモミ	13.9	14.2	
770	ミスナラ	21.2	19.3	
771	キタゴヨウ	20.4	19.2	
772	シラカンバ	19.4	20.1	
773	コシアブラ	26.5	18.1	
774	コシアブラ	18.8	16.8	
775	ミスナラ	14.8	19.5	
776	シラカンバ	15.7	18.7	

No.②の現地写真（対象区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林204林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.②対象区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占し、アカマツ、ミズナラ、キタゴヨウマツ、シラカンバ、コシアブラなどが見られ、ミズナラの亜高木層が僅かに見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受け少ないが、ミズナラ、キタゴヨウマツ、ウリハダカエデ等の稚樹が見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

プロットNo.③

a 調査区

表 6-108 プロットNo.③調査区の植生調査結果

No. 柵子 Date 年月日 26. 11. 13

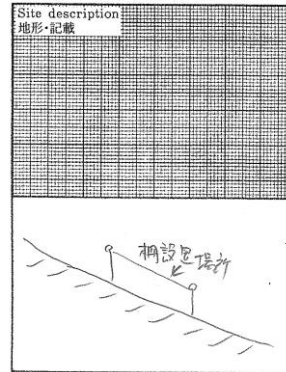
Location 地形 平衡斜面 Inclination 傾斜 10 度

Direction 方位 S40W Altitude 標高 1735 m

Residual/Colluvial 堆積様式 残積 Parent material (母材) 蛇紋岩

Land use 利用来歴・現況 人工林に囲まれた天然林

Surveyor 調査者 元 智 清 人



Community table 群落組成表 / Community symbol 群落名 ウラジロモミ

Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数
I 高木層 (T ₁)	ウラジロモミ	13 ~ 19	18 ~ 42	60	5
II 亜高木層 (T ₂)	ウラジロモミ	6 ~ 12	4 ~ 9	60	5
III 低木層 (S)	ウラジロモミ	2 ~ 6	4 ~ 7	5	1
IV 草本層 (H)	ウラジロモミ	0 ~ 0.1	~	0	2
V 蘇苔層 (M)	~	~	~	~	~

Area 面積 (10 × 10) (100) m²

Species' numbers 出現種数 10 種

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	センノキ(ハリギリ)	ウコギ	
	1	1	イタヤカエデ	カエデ	
	1	1	キタコヨウ	マツ	
	1	1	ミスナラ	ブナ	
T ₂	2	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	コシアブラ	ウコギ	
	1	1	サクラ	バラ	
	1	1	ウリハダカエデ	カエデ	
	1	1	ヤマモシロ	カエデ	
S	1	1	ウラジロモミ	マツ	
H	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	
	+	1	キタコヨウ	マツ	

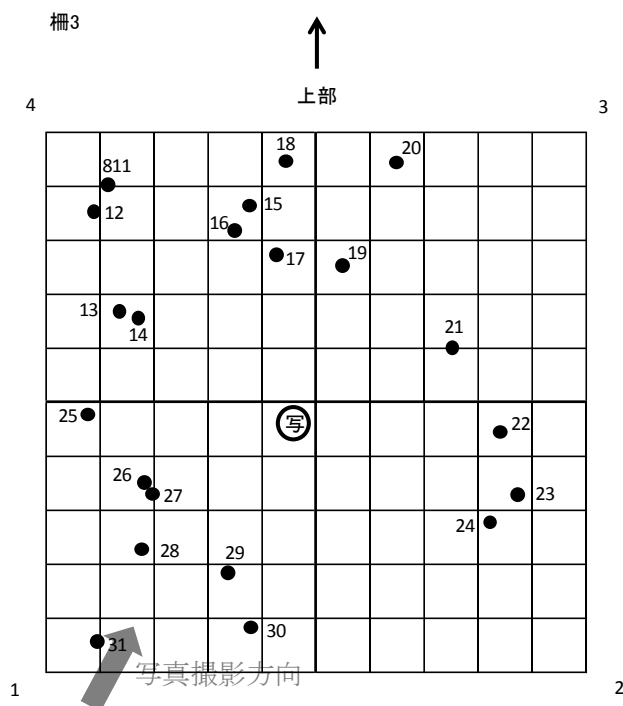


図 6-72 プロットNo.③調査区の毎木位置

表 6-109 プロットNo.③調査区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備考
811	ウラジ`ロモミ	16.2	15.5	
812	ヤマモジ`	3.5	4.7	
813	センノキ(ハリギリ)	41.9	18.5	
814	ウラジ`ロモミ	6.8	5.3	
815	ウラジ`ロモミ	23.3	18.9	皮ハギ
816	ウラジ`ロモミ	9.0	7.6	皮ハギ
817	コシアブラ	7.5	8.1	皮ハギ
818	ウラジ`ロモミ	6.9	5.7	皮ハギ
819	ウラジ`ロモミ	5.8	3.7	皮ハギ
820	ウラジ`ロモミ	6.2	5.5	皮ハギ
821	イタヤカエデ`	11.2	12.8	皮ハギ
822	ウラジ`ロモミ	6.3	6.7	皮ハギ
823	ウラジ`ロモミ	12.2	14.0	角研
824	ウラジ`ロモミ	9.4	9.9	皮ハギ
825	ウラジ`ロモミ	5.4	4.2	皮ハギ
826	キタコ`ヨウ	20.0	17.0	皮ハギ
827	ウラジ`ロモミ	7.0	7.5	皮ハギ
828	サクラ (種不明)	12.1	12.3	
829	ウリハダ`カエデ`	8.7	11.9	皮ハギ
830	ミス`ナラ	9.1	13.1	
831	ヤマモジ`	3.6	6.3	

No.③の現地写真（調査区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林203林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.③調査区のコメント】

高木層は、ウラジロモミが優占し、ハリギリ、イタヤカエデ、キタゴヨウマツ、ミズナラなどが見られ、ウラジロモミ、コシアブラ、ヤマザクラ、ウリハダカエデ等の亜高木層が見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受けそれほど多くないが、ウラジロモミの低木層が見られ、また草本層にはキタゴヨウマツの稚樹が見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

b 対照区

表 6-110 プロットNo.③対象区の植生調査結果

No. 対3 Date 426
年月日 11.13

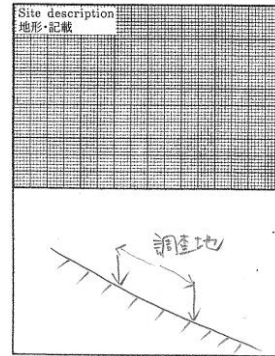
Location 地形 平衡斜面 Inclination 傾斜 12 度

Direction 方位 S40W Altitude 標高 1735 m

Residual/Colluvial 堆積様式 残積 Parent material (古土層) 母材・地質 蛇紋岩

Land use 利用来歴・現況 人工林に囲まれた天然林

Surveyor 調査者 元島清人



Community table 群落組成表 / Community symbol 群落名 ウラジロモミ~ダケカンバ

Layer 階層	Dominant 優占種	Height 高さ m	D.B.H 胸径 cm	P.C.V. 植被率%	Spp Nos. 種数
I 高木層 (T ₁)	ウラジロモミ	18.5~25		40	4
II 亜高木層 (T ₂)	ウラジロモミ	7~12.3~6		70	5
III 低木層 (S)	ウラジロモミ	2~5.4~5		10	3
IV 草本層 (H)	—	0~0.1		0	0
V 蘇苔層 (M)	—	~			

Area 面積 10m x 10 (100) m²

Species' numbers 出現種数 12 種

P.C.V.: Percentage of vegetational cover
D.B.H.: Diameter breast high

階層	被度	群度	種名	科名	高さ (cm)
T ₁	2	2	ダケカンバ	カンバ科	
	2	2	ミズナラ	ブナ	
	1	1	トノキ	ヤナギ	
	1	1	ウラジロモミ	マツ	
T ₂	2	2	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	サクラ	バラ	
	1	1	ヤマモシロ	カエデ	
	1	1	アオハダ	モチノキ	
	1	1	ウリハダカエデ	カエデ	
S	1	1	ウラジロモミ	マツ	
	1	1	アオハダ	モチノキ	
	1	1	ウグイスカグラ	スイカズラ	
H	+	1	キタコヨウ	マツ	
	+	1	ウラジロモミ	マツ	
	+	1	タチツボスミレ	スミレ	

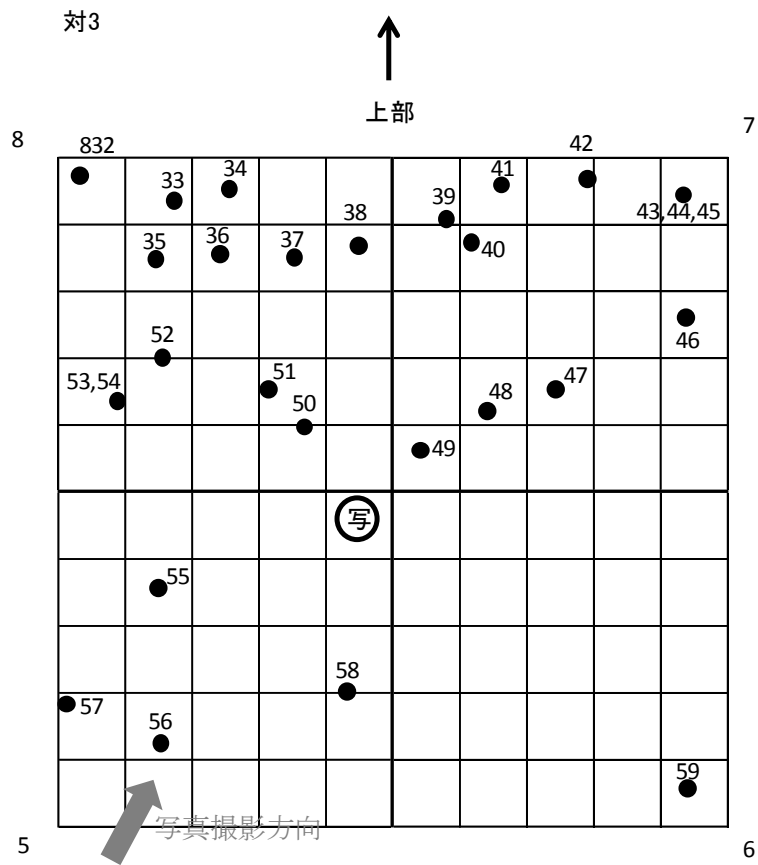


図 6-73 プロットNo.③対象区の毎木位置

表 6-111 プロットNo.③対象区区の毎木調査結果

NO テープ	種名	胸高直径(cm)	樹高 (m)	備考
832	ミズナラ	25.4	18.1	
833	ウラジロモミ	6.8	8.2	皮ハギ
834	ウラジロモミ	5.8	7.3	皮ハギ
835	ウラジロモミ	12.1	11.1	
836	トノキ	19.9	13.3	
837	ウラジロモミ	11.0	10.1	皮ハギ
838	ウラジロモミ	5.6	5.4	皮ハギ
839	ダケカンバ	16.1	15.8	
840	ウラジロモミ	7.5	7.6	皮ハギ
841	ウラジロモミ	12.0	10.3	皮ハギ
842	ウラジロモミ	3.5	3.2	皮ハギ
843	ヤマモミジ	4.1	7.0	角研
844	ヤマモミジ	3.4	7.1	
845	ヤマモミジ	6.1	9.8	
846	ウグイスカグラ(不明)	3.5	4.3	皮ハギ
847	ウラジロモミ	5.3	4.5	皮ハギ
848	ウラジロモミ	4.4	4.3	皮ハギ
849	ダケカンバ	21.8	17.9	
850	サクラ(不明)	6.3	6.8	
851	サクラ(不明)	6.9	9.0	
852	ウラジロモミ	4.2	3.8	皮ハギ
853	アオハダ	8.5	10.3	皮ハギ
854	アオハダ	4.1	6.5	皮ハギ
855	サクラ(不明)	11.4	13.2	
856	ミズナラ	13.1	15.2	
857	ウリハダカエデ	9.0	12.9	
858	ダケカンバ	7.8	13.4	
859	ウラジロモミ	15.1	16.1	

No.③の現地写真（対象区）

所在：長野県伊那市長谷大字黒河内国有林203林班ろ小班内



遠景



近景

【プロットNo.③対象区のコメント】

高木層は、ダケカンバとミズナラが優占し、ウラジロモミやドロノキが混生する。亜高木層にウラジロモミ、ヤマザクラ、アオハダ、ヤマモミジ、アオハダなどが見られる。

下層植生は、上層木の被覆に伴う照度不足と、シカによる食害を受け、ほとんど見られないが、ウラジロモミやアオハダ等の低木層が見られ、また草本層にはキタゴヨウマツ、ウラジロモミ等の稚樹が見受けられる。なお、かつては生育していたミヤマクマザサが、この場所では見られない。

平成26年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業
(関東・中部)
報告書

平成27年(2015年)3月

発注者 林野庁

受託者 株式会社野生動物保護管理事務所